HX Data Platform インターフェイスへのログイン

- HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要 （1 ページ）
- AAA 認証 REST API （9 ページ）
- HX Connect へのログイン （10 ページ）
- コントローラ VM（stcli）コマンド ラインへのログイン （11 ページ）
- ストレージ コントローラ VM および ESXi のパスワードの復元 （14 ページ）
- Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン （15 ページ）
- HX Data Platform REST API へのアクセス （16 ページ）
- Cisco HX Data Platform プラグインへのアクセス （17 ページ）

HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要

HyperFlex の各インターフェイスは、HX Storage Clusterについての情報とアクションを実行するための手段へのアクセスを提供します。HX Storage Cluster インターフェイスには次のものがあります。

- HX Connect—モニタリング、パフォーマンス チャート、およびアップグレード、暗号化、複製、データストア、ノード、ディスク、VM ready clones のタスク。
- HX Data Platform Plug-in—モニタリング、パフォーマンス チャート、データストア、ホスト（ノード）、ディスクのタスク。
- ストレージ コントローラ VM コマンド ライン—HX Data Platform `stcli` コマンドの実行。
- HyperFlex Systems RESTful API—認証、複製、暗号化、モニタリング、およびオンデマンド ステートレス プロトコルを介しての HyperFlex Systems の管理の有効化。

追加のインターフェイスには次のものが含まれます。

- Cisco HX Data Platform インストーラ—HX Data Platform のインストール、HX Storage Cluster の展開および拡張、ストレッチ クラスタの展開、HYPER-V クラスタの展開。

- Cisco UCS Manager—HX Storage Cluster のネットワーク、ストレージとストレージ アクセス、およびリソースの管理のタスク。
- VMware vSphere Web Clientおよび vSphere クライアント：vCenter クラスタのすべての VMware ESXi サーバの管理。
- VMware ESXi —ホスト コマンド ラインを提供する個々の ESXi ホストの管理。

HX Data Platform ログイン クレデンシャルに関するガイドライン

stcli コマンドは、ログイン クレデンシャルを要求します。

定義済みユーザ `admin` および `root` のストレージ コントローラ VM のパスワードは、HX Data Platform インストーラの実行時に指定します。インストール後は、`stcli` コマンド ラインを使用してパスワードを変更できます。

ユーザーが 10 回連続で間違ったクレデンシャルでログインしようとした場合、アカウントは 2 分間ロックされます。SSH でログインの試行が失敗した場合、アカウントがロックされたことを示すエラー メッセージが表示されます。HX Connect または REST API でログインの試行が失敗した場合、10 回の試行中にアカウントがロックされたことを示すエラー メッセージが表示されます。

コンポーネント	権限レベル	[ユーザ名（**Username**）]	パスワード	注意
HX Data Platform OVA	root	root	Cisco123 重要　システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。	

コンポーネント	権限レベル	[ユーザ名（**Username**）]	パスワード	注意
HX Data Platform インストーラ VM	root	root	Cisco123 **重要** システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。	
HX Connect	管理者または読み取り専用	vCenter から定義されたユーザ。	vCenter から定義されたユーザ。	
		定義済みの `admin` または `root` ユーザ。	HX のインストール中に指定されます。	オプションで、ログインの場合は `local/` を先頭に付けることができます。つまり、`local/admin` または `local/root` になります

コンポーネント	権限レベル	[ユーザ名（Username）]	パスワード	注意
HX ストレージコントローラ VM	admin	HX のインストール中に定義されたユーザ。 vCenter から定義されたユーザ。 定義済みの `admin` または `root` ユーザ。	HX のインストール中に指定されます。 強力なパスワードが必要です。	ストレージ クラスタ内のすべてのノードで一致する必要があります。 インストール後、パスワードを変更するときは `stcli` コマンドを使用します。
vCenter	admin	administrator@vsphere.local デフォルト。 SSO 有効。 設定に依存します。MYDOMAIN\name または name@mydomain.com。	SSO 有効。 設定に依存します。	ESX サーバがバージョン 5.5 の場合は、vCenter クレデンシャルが vSphere 5.5 の要件を満たしていることを確認してください。 読み取り専用ユーザには HX Data Platform Plug-in へのアクセス権はありません。
ESXi サーバ	root	SSO 有効。 設定に依存します。	SSO 有効。 設定に依存します。	ストレージ クラスタ内のすべての ESX サーバで一致する必要があります。
ハイパーバイザ	root	root	HX のインストール中に指定されます。	HX のインストール後にパスワードを変更するときは、vCenter または `esxcli` コマンドを使用します。
UCS Manager	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	
ファブリック インターコネクト	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	

HX Data Platform の名前、パスワード、文字

印刷可能な ASCII 文字と拡張 ASCII 文字のほとんどは、名前とパスワードに使用できます。HX Data Platform のユーザ名、パスワード、仮想マシン名、ストレージ コントローラ VM 名、

およびデータストア名に使用できない文字があります。フォルダとリソースプールには文字の例外はありません。

パスワードは、少なくとも1つの小文字、1 つの大文字、1 つの数字、および _@#$%^&*! のうち 1 つの特殊文字を含む、10 文字以上で指定する必要があります。

アンパサンド（&）、アポストロフィ（'）、アスタリスク（*）、アット マーク（@）、バック スラッシュ（\）、コロン（:）、カンマ（,）、ドル記号（$）、感嘆符（!）、スラッシュ（/）、小なり記号（<）、大なり記号（>）、パーセント（%）、パイプ（|）、シャープ（#）、疑問符（?）、セミコロン（;）

特殊文字を入力するときは、使用しているシェルを考慮してください。シェルごとに、大文字小文字を区別するかどうかが異なります。名前またはパスワードに特殊文字がある場合は、引用符で囲んでください（例：'speci@lword!'）。フィールドから HyperFlex Installer パスワードの単一引用符内で、パスワードを入力する必要はありません。

HX ストレージ クラスタ名

HX クラスタ名は 50 文字以内です。

HX ストレージ クラスタ ホスト名

HX クラスタ ホスト名は 80 文字以内です。

仮想マシンとデータストア名

仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名を構成する文字のほとんどは使用できます。エスケープされた文字は、仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名として許容されます。

最大文字数：仮想マシン名には 80 文字まで使用できます。

除外される文字：スナップショットを有効にするユーザ仮想マシン名またはデータストア名に次の文字を使用しないでください。

- アクセント（`）

特殊文字：ユーザの仮想マシン、またはデータストア名に使用できる特殊文字は次のとおりです。

- アンパサンド（&）、アポストロフィ（'）、アスタリスク（*）、アットマーク（@）、バック スラッシュ（\）、サーカムフレクス（^）、コロン（:）、カンマ（,）、ドル記号（$）、ドット（.）、二重引用符（"）、等号（=）、感嘆符（!）、スラッシュ（/）、ハイフン（-）、左波カッコ（{）、左丸カッコ（(）、左角カッコ（[）、小なり記号（<）、大なり記号（>）、パーセント（%）、パイプ（|）、プラス記号（+）、シャープ（#）、疑問符（?）、右波カッコ（}）、右丸カッコ（)）、右角カッコ（]）、セミコロン（;）、ティルダ（~）、アンダースコア（_）

ユーザ名の要件

HX Data Platform コンポーネントに固有なユーザ名を使用できますが、UCS Manager ユーザ名要件を満たす必要があります。

UCS Manager ユーザ名の要件。

- 文字数：6 ～ 32 文字
- Cisco UCS Manager 内で一意にする必要があります。
- 先頭を英字にする必要があります。
- 必須要素：英字（大文字または小文字）。
- 使用可能要素：数字。すべて数字にすることはできません。
- 許可される特殊文字：アンダースコア（_）、ダッシュ（-）、ドット（.）。

コントローラ VM のパスワードの要件

コントローラ VM の root および admin ユーザのパスワードには、次のルールが適用されます。

（注） パスワードに関する一般的な規則：コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、パスワードの入力を求めることができる状態にします。

- 最小長：10
- 1 つ以上の大文字
- 1 つ以上の小文字
- 1 つ以上の数字
- 1 つ以上の特殊文字
- 新しいパスワードの設定を試せる回数は最大 3 回

コントローラ VM のパスワードを変更するには、必ず `stcli` コマンドを使用します。Unix パスワード コマンドなどの他のパスワード変更コマンドを使用しないでください。

1. 管理コントローラ VM にログインします。
2. `stcli` コマンドを実行します。

   stcli security password set [-h] [--user USER]

   変更は、HX クラスタ内のすべてのコントローラ VM に伝達されます。

UCS Manager と ESX のパスワードの形式と文字の要件

以下の項では、UCS Manager と VMware ESXi のパスワードの形式と文字の要件について簡単にまとめています。詳細については Cisco UCS Manager と VMware ESXi のマニュアルを参照してください。

- **文字クラス**：小文字、大文字、数字、特殊文字。

  パスワードは大文字と小文字が区別されます。

- **文字の長さ**：最小 6、最大 80

  4 つすべての文字クラスの文字を含む場合は、6 文字以上が必要です。

  3 つ以上の文字クラスの文字を含む場合は、7 文字以上が必要です。

  1 つまたは 2 つの文字クラスの文字しか含まない場合は、8 文字以上が必要です。

- **開始文字と終了文字**：パスワードの先頭の大文字またはパスワードの末尾の数字は文字数の合計に含まれません。

  パスワードが大文字で始まる場合、2 つの大文字が必要です。パスワードが数字で終わる場合、2 桁の数字が必要です。

  要件を満たしている例：

  h#56Nu（6 文字）。4 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

  h5xj7Nu（7 文字）。3 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

  XhUwPcNu（8 文字）。2 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

  Xh#5*Nu（6 文字としてカウント）。4 つの文字クラス。大文字で始まっています。数字で終わっていません。

  h#5*Nu9（6 文字としてカウント）。4 つの文字クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっています。

- **連続文字**：最大 2。たとえば、hhh###555 は許容されません。

  vSphere SSO ポリシーを介して、この値を設定できます。

- **除外される文字**：

  UCS Manager のパスワードにエスケープ（\）文字を含めることはできません。

  ESX パスワードにこれらの文字を含めることはできません。

  - ユーザ名やユーザ名を逆にしたものは使用できません。
  - ディクショナリに存在する単語を含めることはできません。
  - エスケープ文字（\）、ドル記号（$）、疑問符（?）、等号（=）を含めることはできません。

- **辞書に載っている単語:**

  辞書で使用されている単語は使用しないでください。

vSphere 5.5 のパスワードの例外

一部の文字は、vSphere 内の機能で処理されるときにエスケープされます。つまり、処理機能によって、特殊文字の前にエスケープ文字が付加されてから、指定された名前が処理されます。

許可される特殊文字はvSphereバージョン5.5または6.0以降に固有です。https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=ja_jp&cmd=displayKC&externalId=2060746 で、VMware KB の記事『*Installing vCenter Single Sign-On 5.5 fails if the password for administrator@vsphere.local contains certain special character (2060746)*』を参照してください。

除外される文字：vSphere 5.5 では次の文字を使用しないでください。

- 非 ASCII 文字。拡張 ASCII 文字。
- アクセント付きの文字。たとえば、アクセント、鋭アクセント、サーカムフレクス、ウムラウト、ティルダ、およびセディーユ（é、à、â、å、ø、ü、ö、œ、ç、æ）があります。
- vSphere 5.5 と SSO：アンパサンド（&）、アポストロフィ（'）、バックスラッシュ（\）、サーカムフレクス（^）、二重引用符（"）、感嘆符（!）、パーセント（%）、セミコロン（;）、スペース（ ）

  VMware には、vSphere SSO パスワードポリシー設定オプションとユーザ名のアップグレードに関する検討事項があります。VMware のマニュアルで、「*How vCenter Single Sign-On Affects Upgrades*」と「*Edit the vCenter Single Sign-On Password Policy*」のトピックを参照してください。
- ロケーションベースの例外：名前の先頭に、アットマーク（@）と丸カッコ（()）を使用しないでください。

AAA 認証 REST API

Cisco HyperFlex は、ストレージクラスタのリソースにアクセスするための REST API を提供します。AAA 認証 REST API は、ユーザを認証し、入力されるログイン情報とアクセス トークンを交換するためのメカニズムを提供します。このアクセス トークンは他の REST API コールを呼び出すために使用できます。

認証 REST API (/auth) には、レート制限が適用されます。15 分のウィンドウでは、/auth は最大 5 回呼び出せます (正常に呼び出せた場合)。各ユーザは、取り消されていないトークンを最大 8 つ作成することができます。次に /auth を呼び出すと、新しいトークンの余地を設けるため、最も古い発行済みトークンが自動的に取り消されます。システムには、最大で 16 の取り消されていないトークンが存在できます。ブルートフォース攻撃を防ぐために、認証試行が 10 回連続で失敗した場合、ユーザアカウントは 120 秒間ロックされます。発行されたアクセス トークンは 18 日間 (1555200 秒) 有効です。

（注） HxConnect はログインのために /auth コールを使用します。この場合も同じ制限が適用されます。

HX Connect へのログイン

Cisco HyperFlex Connect Cisco のモニタリング、およびレプリケーション、暗号化、データストア、および仮想マシンのタスクに対し、HTML 5 ベースでアクセスすることを可能にします。

セッションの概要

HX Connect へのログインはそれぞれセッションです。セッションは、HX Connect にログインした時からログアウトする時までの間のアクティビティの期間です。セッション中にブラウザの Cookie を手動でオフにしないでください。それにより、セッションもドロップされるためです。ドロップした場合でも、セッションを閉じるためにブラウザを閉じないでください。そのセッションは、引き続きオープンなセッションとしてカウントされます。デフォルトのセッションの最大数には、次が含まれます。

- ユーザごとに 8 の同時セッション
- HX ストレージ クラスタ全体での16の同時セッション。

始める前に

重要

- 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HX Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。
- vCenter 上の時間とコントローラ VM 上の時間が同期またはほぼ同期していることを確認します。vCenter の時間とクラスタの時間に開きがありすぎる場合は、AAA 認証が失敗します。

ステップ 1 HX Storage Cluster管理 IP アドレスを見つけます。

個々の ストレージ コントローラ VM ではなく、管理 IP アドレスの完全修飾ドメイン名（FQDN）を使用します。

ステップ 2 ブラウザに HX Storage Clusterの管理 IP アドレスを入力します。

ステップ 3 HX Storage Clusterのログイン クレデンシャルを入力します。

- **RBAC ユーザ**：Cisco HyperFlex Connect は、次のロールに基づくアクセス制御（RBAC）ログインをサポートします。
  - **管理者**：管理者ロールを持つユーザには、読み取りおよび変更操作の権限があります。これらのユーザは、HX Storage Clusterを変更できます
  - **読み取り専用**：読み取り専用ロールを持つユーザには、読み取り（表示）権限があります。HX Storage Clusterを変更することはできません。

これらのユーザはvCenterを介して作成されます。vCenterユーザ名の形式は`<name>@domain.local`で、ユーザ プリンシパル名（UPN）形式で指定されています。例：`administrator@vsphere.local`。ユーザ名に「ad:」などのプレフィックスを追加しないでください。

- **HX 事前定義ユーザ**：HX Data Platformの事前定義ユーザである`admin`または`root`を使用してログインするには、`local/`プレフィックスを入力します。例：`local/root`または`local/admin`。

  `local/`ログインで実行したアクションは、ローカル クラスタにのみ影響します。

  vCenterはHX Connectを使用してセッションを認識します。このためvCenterで発生するシステム メッセージには、`local/root`ではなくセッションのユーザが表示される可能性があります。たとえば、アラームで`Acknowledged By might list com.springpath.sysmgmt.domain-c7`と表示される可能性があります。

目のアイコンをクリックすると、パスワード フィールドのテキストが表示または非表示となります。このアイコンは、他のフィールド要素によって見えにくくなる場合があります。それでも、目のアイコンの領域をクリックすると、切り替え機能は動作します。

次のタスク

- HX Connectに表示される内容を更新するには、更新（円形）アイコンをクリックします。これによってページが更新されない場合は、キャッシュをクリアして、ブラウザをリロードします。
- HX Connectからログアウトして、適切にセッションを閉じるには、[User] メニュー（右上）> [Logout] を選択します。

コントローラ VM（stcli）コマンド ラインへのログイン

すべての`stcli`コマンドは、HX Cluster情報を読み取るコマンドとHX Clusterを変更するコマンドに分かれています。

- 変更のコマンド：管理者レベルの権限が必要です。例：

  ```
  stcli cluster create
  stcli datastore create
  ```

- 読み取りのコマンド：管理者レベルまたは読み取り専用レベルの権限で使用できます。例：

  ```
  stcli <cmd> -help
  stcli cluster info
  stcli datastore info
  ```

HX Data Platform `stcli`コマンドを実行するには、HX データ プラットフォーム ストレージ コントローラ VM コマンド ラインにログインします。

重要 コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、プレーンテキストとしてログに頻繁に渡されます。コマンドからパスワードの入力を求められるまで待ちます。これは、ログイン コマンドだけでなく `stcli` コマンドにも当てはまります。

以下の方法で、ストレージ コントローラ VM の HX Data Platform コマンドライン インターフェイスにログインできます。

- ブラウザから
- コマンド ターミナルから
- HX Connect Web CLI ページから

  HX Connect では直接コマンドのみサポートされます。

  - 直接コマンド：1 回のパスで完了し、コマンドラインを介した応答を必要としないコマンド。直接コマンドの例：`stcli cluster info`
  - 間接コマンド：コマンドラインを介したライブ応答を必要とするマルチレイヤのコマンド。対話型コマンドの例：`stcli cluster reregister`

（注） VCenter で作成された管理者ユーザーは、次の形式の正式名称を使用してストレージ コントローラ VM CLI にログインできます。

< user > @vsphere. local/password

ただし、vCenter で作成された読み取り専用ユーザーは、ストレージ コントローラ VM CLI にログインできません。

ステップ 1 コントローラ VM の DNS 名を探します。

1. **[VM]** > **[Summary]** > **[DNS Name]** を選択します。
2. vSphere Web Client **[ホーム]** > **[VM およびテンプレート]** > **[vCenter サーバ]** > ***[datacenter]*** > **[ESX Agents]** > **[VVM]** を選択します。
3. コントローラ VM のストレージ クラスタ リストにクリック スルーします。

ステップ 2 ブラウザから、DNS 名と `/cli` パスを入力します。

a) パスを入力します。

例

```
# cs002-stctlvm-a.eng.storvisor.com/cli
```

想定されるユーザ名：`admin`、パスワード：HX Clusterの作成時に定義。

b) プロンプトにパスワードを入力します。

ステップ 3 コマンド ライン ターミナルから ssh を使用します。

（注） ssh ログイン文字列にパスワードを含めないでください。ログインは、プレーン テキストとしてログに渡されます。

a) ssh コマンド文字列を入力します。

b) 証明書の警告が表示される場合があります。yes と入力して警告を無視して続行します。

```
-----------------------------------------------------------
                   !!! ALERT !!!
This service is restricted to authorized users only.
All activities on this system are logged. Unauthorized
access will be reported.
-----------------------------------------------------------
HyperFlex StorageController 2.5(1a)# exit
logout
Connection to 10.198.3.22 closed.]$ssh root@10.198.3.24
The authenticity of host '10.198.3.24 (10.198.3.24)' can't be established.
ECDSA key fingerprint is xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?
```

c) プロンプトにパスワードを入力します。

```
# ssh admin@10.198.3.22
 HyperFlex StorageController 2.5(1a)
admin@10.198.3.22's password:
```

ステップ 4 HX Connect から HX Connect にログインし [**Web CLI**] を選択します。

（注） HX Connect Web CLI からは非対話型のコマンドのみを実行できます。

ストレージ コントローラ パスワードの変更

インストール後に HyperFlex ストレージ コントローラのパスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ストレージ コントローラ VM にログインします。

ステップ 2 Cisco HyperFlex ストレージ コントローラ パスワードを変更します。

```
# stcli security password set
```

このコマンドによって、変更がストレージ クラスタ内のすべてのコントローラ VM に適用されます。

（注） 新しいコンピューティング ノードを追加し、**scli security password set** コマンドを使用してクラスタ パスワードを再設定しようとすると、コンバージド ノードは更新されますが、コンピューティング ノードはデフォルト パスワードのままになることがあります。コンピューティング ノードのパスワードを変更するには、次の手順を使用します。

コンピューティング ノードでパスワードを変更するには：

1. ESXi ホストからすべてのユーザー VM を vMmotion します。
2. VCenter からストレージ コントローラ VM コンソールを起動し、root ユーザーとしてログインします。
3. **passwd** コマンドを実行して、パスワードを変更します。
4. ログアウトして再度ログインし、パスワードが正常に変更されたことを確認します。
5. **stcli node add -f** コマンドを実行し、ノードをクラスタに再び追加します。

ステップ 3 新しいパスワードを入力します。

ステップ 4 **Enter** を押します。

ストレージ コントローラ VM および ESXi のパスワードの復元

ストレージ コントローラ VM のパスワードが失われたが、ESXi のパスワードが機能している場合は、ESXi にログインし、ストレージ コントローラ VM のパスワードをリセットすることができます。同様に、ESXi パスワードを紛失したときにストレージ コントローラ VM にログインすることで、ESXi のパスワードをリセットできます。

ESXi パスワードを使用したストレージ コントローラ VM のパスワードの回復

始める前に

ESXi パスワードが必要です。

ステップ 1 SSH を使用して ESXi ホストにログインします。

ステップ 2 例に示すように、host_rsa_key を使用して ESXi から、パスワードを回復する必要があるストレージ コントローラ VM に SSH で接続します。

ステップ 3 `stcli security password set` コマンドを使用して、パスワードをリセットします。

（注） このコマンドで、クラスタ内のすべてのノードのパスワードをリセットします。

例

```
[root@f241-12-09-HX-1-1:~]  ssh root@`/opt/springpath/support/getstctlvmip.sh "Storage Controller
Management Network"` -i /etc/ssh/ssh_host_rsa_key
 HyperFlex StorageController 1.8(1a)
----------------------------------------------------------
                    !!! ALERT !!!
This service is restricted to authorized users only.
All activities on this system are logged. Unauthorized
```

```
access will be reported.
-------------------------------------------------------


 HyperFlex StorageController 1.8(1a)
Last login: Thu Oct 27 11:29:49 2016 from dhcp-172-18-253-157.cisco.com
root@SpringpathController9BN5EXPF0C:~# stcli security password set
Enter new password for user root:
Re-enter new password for user root:
root@SpringpathController9BN5EXPF0C:~#
```

ストレージコントローラ VM パスワードを使用した ESXi のパスワードの復元

始める前に

ストレージ コントローラ VM のパスワードが必要です。

ステップ 1 SSH を使用してストレージ コントローラ VM にログインし、次のコマンドを実行します。

```
# Ssh root@<esxi_ipaddress> -i /etc/ssh/ssh_host_rsa_key
```

または、次のコマンドを実行することもできます。

```
ssh root@`/opt/springpath/storfs-mgmt-cli/getLocalNode.sh | grep IP | cut -f2- -d=` -i
/etc/ssh/ssh_host_rsa_key
```

（注） このコマンドは、ストレージ コントローラが 1 対 1 のマッピング上に存在する ESXi ホストに対してのみ機能します。各 ESXi ホストのパスワードを変更する必要があります。

ステップ 2 次のコマンドを実行して、ESXi ホストのパスワードを変更します。

```
passwd root
```

ここでは、root はユーザ名です。

ステップ 3 新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。確認のため、パスワードを再入力します。

```
# passwd root
Changing password for user root.
New UNIX password:
Retype new UNIX password:
```

新しいパスワードを使用して ESXi ホストにアクセスできます。

Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン

次に、HX Data Platform ソフトウェアをインストールします。

（注） Cisco HX Data Platform インストーラ を起動する前に、ストレージ クラスタに含める予定の vCenter クラスタにあるすべての ESXi サーバがメンテナンス モードであることを確認します。

ステップ 1 ブラウザに、HX Data Platform インストーラ がインストールされる VM の URL を入力します。

このアドレスは、前述の項「Deploying HX Data Platform インストーラの展開」から入手します。例：*http://10.64.4.254*

ステップ 2 次のクレデンシャルを入力します。

- **ユーザ名**：*root*
- **パスワード**（デフォルト）：Cisco123

注目 システムは、デフォルトのパスワード [`Cisco123`] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。

EULA を読みます。[I accept the terms and conditions] をクリックします。

右下隅に記載された製品バージョンが正しいことを確認します。[Login] をクリックします。

ステップ 3 この HX Data Platform インストーラ ワークフローページには、ワークフローのオプションが 2 つ表示されます。

- **[クラスタの作成]** ドロップダウン リスト：標準のクラスタ、ストレッチ クラスタ、または Hyper-V クラスタを展開できます。
- **クラスタ展開** —データを提供して、既存の標準的なストレージ クラスタにコンバージド ノードやコンピューティング ノードを追加できます。

HX Data Platform REST API へのアクセス

Cisco HyperFlex HX-Series System は、コンピューティング、ストレージ、ネットワークの 3 つのレイヤすべてを強力な Cisco HX Data Platform のソフトウェア ツールと組み合わせた完全内包仮想サーバプラットフォームで、シングルポイントの接続性が得られ、シンプルな管理を実現できます。Cisco HyperFlex システムは、単一の UCS 管理ドメインに HX ノードを追加することによってスケールアウトするように設計されたモジュラ システムです。このハイパーコンバージドシステムでは、ワークロードのニーズに基づいて、統合されたリソースのプールが提供されます。

HTTP 動詞を使用した Cisco HyperFlex システム RESTful API は、HTTP 呼び出しを実行するように構成できる他のサードパーティ製の管理および監視ツールと統合されています。また、オ

ンデマンドステートレスプロトコルを介したHyperFlexシステムの認証、レプリケーション、暗号化、モニタリング、および管理を可能にします。このAPIを使用すれば、外部アプリケーションをHyperFlexの管理プレーンと直接インターフェイスさせることができます。

これらのリソースにはURI（Uniform Resource Identifier）を介してアクセスし、これらのリソースに対する操作はPOST（作成）、GET（読み取り）、PUT（更新）、DELETE（削除）などのHTTP動詞を使用して実行します。

REST APIは、Python、JAVA、SCALA、Javascriptなどのさまざまな言語でクライアント ライブラリを生成することも可能なSwaggerを使用して記述されます。このように生成したライブラリを使用して、HyperFlexリソースを使用するためのプログラムとスクリプトを作成できます。

HyperFlexは、組み込みREST APIアクセス ツールであるRESTエクスプローラも備えています。このツールは、リアルタイムでHyperFlexリソースにアクセスし、応答を監視するために使用します。RESTエクスプローラは、コマンドラインから実行可能なCURLコマンドも生成します。

ステップ 1 ブラウザを開いて、https://developer.cisco.com/docs/ucs-dev-center-hyperflex/ DevNetアドレスにアクセスします。

ステップ 2 [Login] をクリックし、必要に応じてクレデンシャルを入力します。

Cisco HX Data Platform プラグインへのアクセス

vSphere Web Clientを介してHX Data Platform Plug-inにアクセスします。

（注）

- HX Data Platform Plug-inは、英語以外のvCenter（日本語、韓国語、および簡体字中国語）で機能します。
- Firefoxブラウザを使用している場合は、最新のAdobe Flash Playerがインストールされていることを確認してください。
- HX Data Platform Plug-inは、vSphereシック クライアントとも呼ばれるvSphereクライアント for Windows経由では入手できません。HX Data Platform Plug-inのアクティビティについて生成されたイベントメッセージは、vSphereクライアント表示に含まれています。HX Data Platform Plug-inタスクはvSphereクライアント for Windows経由では実行できません。
- 読み取り専用の権限を持つユーザは、設定関連のタスクを実行できません。状態の情報の表示のみが可能です。
- 最新バージョンのJavaを使用して、HX Data Platform Plug-inにアクセスします。
- HX Data Platform Plug-inは、vCenter HTMLクライアントには表示されません。VCenterフラッシュ クライアントを使用する必要があります。

ステップ 1 vSphere Web クライアントから、vCenter パネル上部にある [Home] アイコン（家）をクリックします。

ステップ 2 ナビゲータの [Home] ページで [vCenter Inventory Lists] を選択します。

ステップ 3 vCenter インベントリ リストの下部までスクロールして、HX Data Platform プラグインにアクセスします。

ステップ 4 [Cisco HyperFlex Systems] を展開し、[**Cisco HX Data Platform]** をクリックして HX Data Platform Plug-in内で使用可能な HX ストレージ クラスタを表示します。

Cisco HXDP オブジェクトが HX ストレージ クラスタの数の一覧であることに注意してください。

[Objects] タブでは次の操作を実行できます。

- ストレージ クラスタ名を編集します。[edit] アイコン（鉛筆）をクリックするか、[Actions] メニューから [Rename Cluster] を選択します。
- ストレージクラスタ設定を表示します。[summary]アイコン（緑色の紙）をクリックするか、[Actions] メニューから [Summary] を選択します。

ステップ 5 [Navigator] ペインのリストから、[*HX* ストレージ クラスタ] を選択します。

Cisco HX Data Platformの下にストレージ クラスタのリストがあります。このリストからストレージ クラスタを 1 つ選択します。

ステップ 6 [センター (center)] ペイン内のタブをクリックして、HX Data Platform Plug-inの情報とさまざまなアクションにアクセスします。

タブ オプション	説明
使用する前に	概要の情報について読み、基本的なアクションにアクセスします。
要約	HX Data Platform ストレージ オブジェクトの基本ステータスと設定をモニタします。
モニタ	HX ストレージクラスタ、ホスト、およびデータストアのパフォーマンスとイベントをモニタします。
Manage	HX ストレージクラスタの詳細をモニタし、データストアの作成と管理、および情報のコピーとエクスポートを行います。